



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第19号

2021年8月23日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

わくわく算数・数学教室 2日目（23日）

8月23日、「わくわく算数教室」2日目です。今日の「わくわく算数教室」も最高でした。子どもたちもSPさんたちもたくさんいましたが、初日と同様、みんな落ち着いて一生懸命勉強に取り組んでいました。夏休みに、これだけたくさんの子どもの自主的に勉強をしに集まってくるのです。これだけの大学生が“現場で学ぼう”という高い意識で東浦町まで来てくれるのです。すごいことです。すごい活動です。今日もあいにくの雨模様でしたが、算数教室の会場のなかよし音楽広場は熱気が溢れていました。（実際は換気をしているので風は流れていますが……子どもたちもSPさんも熱気がすごいのです。）今日も写真を掲載して、少しでもこの熱気をお伝えしたいと思います。



←午前中、雨だったとはいえ、蒸し暑かったです。廊下や昇降口にはもちろんエアコンはありません。今日から校舎内の工事で、普段と違うルートでなかよし音楽広場に行かなければなりませんでした。それを見たSPさんたちは、1階から3階まで子どもたちについてきてくれました。それも何回も。なんと手厚いのでしょうか。こういった心遣い、そしてフットワークの軽さに感動します。低学年は特に、SPさんたちと楽しそうに3階に上がってきていました。後ろから眺めるSPさんの温かい背中と子どもの嬉しそうな姿が、朝一番最高の瞬間でした。



↑教室に入ると、SPさんが勉強する席（指定席）を教えてください。一緒に席までついていきます。そして、席につくと、手の空いているSPさんが“自然と”子どもたちの近くにいて、「夏休み何してたの?」「宿題は終わった～?」などと話をしてくれます。コミュニケーション能力の高いSPさんたち。その少しの時間、ただボーッと過ごしていたり、ドキドキ緊張しながら待っていたりするよりも、ずっと子どもたちは安心して、楽しく過ごすことができます。



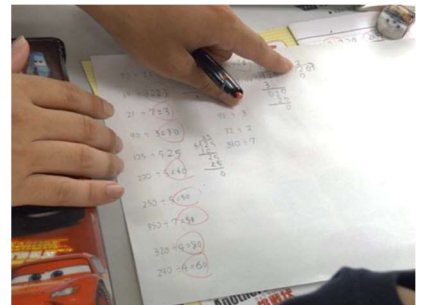
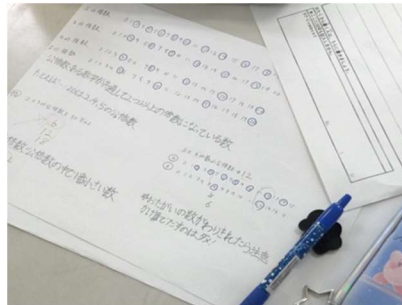
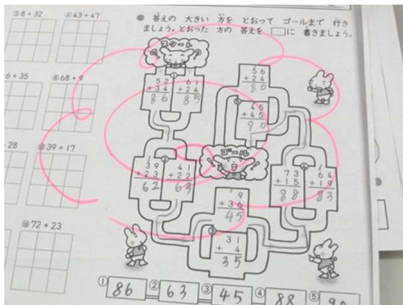
↑算数教室の開始直後、前で中村コーディネーターが説明をしている時のＳＰさんたちの姿勢がすごい！！それまではざわざわと談笑をしていたのですが、中村コーディネーターが話し始めるとすぐに、「話が始まるよ。前を向いて」と言いながら、ＳＰさん自身が写真のような“話を聞く姿勢”を作っていました。その姿を見たら、子どもたちも「聞かなきゃ」と思いますよね。すごい指導だと思います。中村コーディネーターが話し始めても、ＳＰさんが子どもと話していたら（たとえ小さい声でも）、それは「先生の話は聞かなくてよい」というメッセージを子どもたちに与えてしまうことになります。前に立った人の話を聞くということを、ＳＰさんたちは言葉ではなく、自分たちの“姿勢で”伝えてくれていました。素晴らしいセンスに驚きます！



どのＳＰさんも、目を見て子どもの目線でコミュニケーションを図ってくれています。徹底的に子どもの話を聴き、徹底的に寄り添ってくれます。わくわく算数教室を見ていると、「どんな子どもも環境が整えば集中して勉強ができる」という言葉は確かだと、実感します。ＳＰさんが見てくれるから、聴いてくれるから、できることです。ＳＰさんがたくさん参加をしてくれるから、ここまで少人数で指導ができています。それが、子どもたちのやる気や集中力を確かに高めてくれています。クラスの子ども 30 人に対してこれだけ寄り添ってあげることはなかなか難しいかと思いますが、それでも、みなさんは“寄り添う”ことの大切さや、素晴らしさ、その効果を実感できているのではないのでしょうか。最高の学びです。将来に確実つながる、貴重な経験です。



↑低学年の児童が、床に座り込んでプリントを選んでいました。普段の教室では注意されてしまうかもしれませんが、この児童2人は一生懸命自分たちがやる課題を選んでいました。自分で自分の課題を選ぶことも立派な学習です。SPさんも意図的なのか無意識なのかは分かりませんが、横に一緒に座ってアドバイスをしてくれていました。どちらにせよ、素晴らしいセンスだと思います。2人の児童は真剣に、でも、楽しそうに課題を選んで、それから時間目一杯、椅子に座って勉強していました。SPさんだからこそできる支援の方法だと思います。



↑子どもたちは、花丸が大好き！SPさんたちはみんな、丸つけの時に花丸や「Very Good」などの一手間を加えてくれます。SPさんによっては、絵も描いてくれます。（この絵のクオリティがまたすごい。）この少しの手間で、子どもたちのやる気はUP。そして、自然と問題を解くペースも上がっていました。花丸同様、先生問題も大人気！教科書に書いてある問題も、SPさんが書いてくれたら頑張れる子、普段解かないような面白い問題にわくわくする子が、たくさんいました。SPさんたちの柔軟な発想と大学での勉強が存分に発揮されています。

今日は、町内にある緒川小学校の先生もわくわく算数教室の様子を見にきてくださいました。「これはいいですね」と何度も仰ってくださいました。町内での関心も年々高まる一方です。見にきてくださった方は、口々に「これは良い活動だ」と話してくださいます。SPさんたち、これからも自信を持って、この活動に取り組んでいってくださいね。→



SPさんたちの様子を見ていると、それぞれ本当にいろいろな工夫をしてくれています。細かなことを挙げるとキリがないほどです。せっかく色んな大学の学生さんが集まってくれているのでぜひ周りを見渡して、情報交換をしてもらえたらなあ、仲間を作ってもらえたらなあと思います。（もちろん、感染症対策の徹底をお願いします！）これだけの人が、一緒に活動して、同じねらいに向かっている学生ボランティアもそうそうないと思います。わくわく算数教室という貴重な場所を有効活用してもらえたら幸いです。明日もよろしくお願いいたします。